



日野地区の袋型根固め材が積み上法面はシート張り



宝塚シルバー人材センター職員による百軒樋溝掃除



武庫工区の床止め工事は終盤を迎え河床ならし作業開始



2号堰に袋型根固め材が積み上がられていた。



池尻川源流の採石場跡地に太陽光発電パネル設置状況



写真中有の採石場全面に太陽光パネルが設置された。

日野地区の水衝部法面にシート保護、武庫工区で仮設工事で使われた袋型根固め材を転用するなど度々の被害の教訓が活かされ頑丈になった。それに比べ百軒樋付近の高水敷は何の改善もなく一部分は元に戻されたが、取水路から余水ろ付近の高水敷は石ころだらけの砂漠状態で簡単な柵で覆われたままの状態である。宝塚シルバーセンター職員が溝に溜まった土砂を掘り起こし被害箇所を埋め戻していた。話を聞いたらここは毎年のように荒れる。除草作業の障害になるから溝の土砂を取り除いているという。

2号堰下流側に袋型根固め材が積み上げられていた。堰の間に出来た空間に土砂が溜まればアユ遡上し易くなるのが期待できる。池尻川源流に大規模な太陽光発電施設ができた。裸の山肌からの土砂流出が気になりになる。

